

# 「住んでよかった町づくり」に向けた町長の姿勢を問う



質問者  
山岸 一治 議員

町長には、4期目13年余の長きにわたり町政を担っていただいている。松田町のトップとして、

また、県町村会会長等の要職をも経験されました。多くの苦労があったことと感謝します。

さて、この間多くのことを見聞きされてきたことと思う。今後の松田町は、どうあるべきか。今こそ経験を生かすときだと思つ。次の2点についてお聞きしたい。

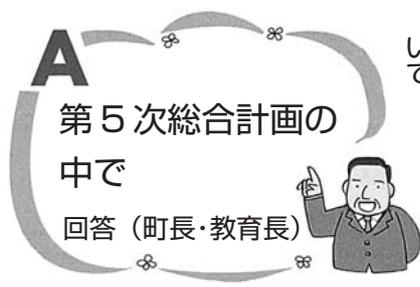
Q1

① 新松田駅北口整備に



② 寄地域の活性化につ

SN



① 新松田駅北口整備に

ついては、町民意識調査でも非常に関心が高い。現状を見ると、特に夕方は路線バスやタクシー並びに送迎用の車両で、駅周辺は混雑している。雨の日は一層大変である。「第5次総合計画」の中で、前期4年間で、あり方の検討を、次の4年間で調査計画を行う。

この事業は、松田町の将来を左右する重要な事業と認識している。地権者・地域住民・交通事業者・商工関係者から意見を聞き県等に働きかけ、事業化していく。

市部との交流による観光入り込み客の増加を図ることである。「地産地消研究会」の土曜市や新松田駅前の物産館での活動は承知している。このような元気な農家が1戸でも増えることが荒廃地対策となるので、支援しよう。

## 町民本位の環境づくりについて



質問者  
石内 浩 議員

町民サイドからは、納得いかない取組みが見つけれられる。以下につき伺いたい。

① 小田急南口開発に、

付属すべき公衆トイレが計画に載っていない。

② AED (自動体外式除細動器) の活用が一般化されたが、その設置場所が町民にわかりにくい。

③ 地域集会施設の一部で建替え、整備が行われているが、災害時の避難場所について、自治会との協議は。また、防災訓練のマンネリ化の指摘があるが、その対応は。

④ 介護保険利用者の負担増になる制度改定がなされようとしているが、町の対応は。



① 小田急南口整備での

国の補助対象は、歩道設置・駅広整備が目的で、トイレなどの施設整備は含まれていない。しかし、トイレは必要と考え半年以内には関係者と協議し、結論を出す。

② AEDの町での設置は、役場・福祉センタ

ー・学校などに9台。民間での設置情報をまとめ、防災マップへの記載などで周知を図る。

③ 次期防災計画には、消防や自衛隊OBの採用で、防災全体の見直しを準備中。

④ 専門的ケアの必要性の増加などを理由に、介護保険給付内容の改善など提言された。「軽度の要介護者等のサービス見直しと負担増」、「ケアプランの利用者負担」、「一部利用者負担を2割」など。町としては、アンケートや策定委員会を通し、次期の計画策定に入る。